

科目名：口腔衛生学Ⅱ〈含、歯科衛生統計〉 (Oral Health & Public Health Ⅱ) 履修年次/時期：2年次 後期 授業形態：講義 担当教員：戸田真司、荒川浩久、宋文群、中向井政子（全員実務経験有）		必	1単位 (45時間)
学修目的	歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には患者および地域における歯科疾患の予防とコントロールの手法、それに必要な情報収集、診断、活動計画立案、成果評価について修得する。 CP 2に関連する。 科目 No.S2B07H03		
この科目が目的としている DP	1.医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2.医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3.口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	歯科衛生士としての地域歯科保健に関する知識と技術を修得し、地域住民のライフステージに応じた予防と健康増進を支援するとともに、他医療職と連携をとりながら、地域社会で歯科保健活動を実践することができる。 ①歯科疾患の指標を説明できる。 ②歯科疾患の疫学を説明できる。 ③衛生統計の基礎と歯科保健統計を説明できる。 ④地域歯科保健活動の進め方と実際を説明できる。 ⑤ライフステージに対応した地域歯科保健活動を説明できる。		
授業概要	講義：第1学年で修得した口腔衛生学Ⅰの患者および地域への応用、歯科疾患や歯磨き状況などの指標化、標本推測統計学の基礎、口腔保健に関する国家統計の状況を理解するための学問である。 演習：う蝕・歯周疾患・口腔清掃状態・歯のフッ素症に関する指標の計算、スクリーニングの有効性を示す指標の求め方の演習を行う。 授業は教科書を中心に解説し、必要な資料を配布し、スライドや黒板を適宜使用する。 学生諸氏はシラバスに沿って予習をするとともに、用意された予習課題に取り組む。また、予習課題とともに復習課題を毎回用意するので、授業ごとにできるだけ早いタイミングで事後学習に取り組み、得られた知識を整理し修得する。		
評価方法	学期末本試験（100点満点） 授業への参加度および課題の実行度に応じて加点を行う。 授業中の私語や指示のない携帯端末の使用など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。 試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。		
予習・復習時間	【予習課題】0.5時間 【復習課題】0.5時間		

教科書	1年次に購入した「歯科衛生士テキスト・口腔衛生学—口腔保健統計を含む—(学建書院)」を使用します。
参考書	講義中に紹介します。
お問い合わせ- 連絡先	<p>戸田真司：月～金曜日 16:20～17:00 4号館 2階 (戸田研究室) toda.s@kdu.ac.jp</p> <p>事前にメールをいただけると円滑に対応できます。</p> <p>荒川浩久 arakawa@kdu.ac.jp</p> <p>メール連絡にて対応いたします。</p> <p>宋文群 月～金曜日 16:20～17:00 第2研究棟 4階 口腔衛生学第1研究室 song@kdu.ac.jp</p> <p>事前にメールをいただけると円滑に対応できます。</p> <p>中向井政子 月～金曜日 16:20～17:00 3号館 2階 (中向井研究室) nakamukai@kdu.ac.jp</p> <p>事前にメールをいただけると円滑に対応できます。</p>

実施回※	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (9/9)	疫学の概論と研究手法 ①疫学の定義を説明できる。 ②疫学研究の方法と特徴を説明できる。 ③疫学研究の進め方を説明できる。	[予習・復習]教科書 P99-103 [キーワード] 疫学の定義、疫学の研究手法、記述疫学、分析疫学、実験疫学、前向きコホート研究、後ろ向きコホート研究、患者対照研究、介入研究、無作為化比較試験、二重盲検法、疫学研究の進め方	講義 ○荒川 戸田
2 (9/9) ※5 限目	う蝕の検出基準と指標 ①数量化の必要性を説明できる。 ②う蝕検出法を説明できる。 ③乳歯と永久歯のう蝕経験指標を説明できる。	[予習・復習]教科書 P104-106 [キーワード]う蝕の検出基準、う蝕経験指数、DMF、DMF 者率、DMF 歯（歯面）率、DMFT (S) 指数、dmf、def、df、DHC、RID index、う蝕抑制率	講義 ○戸田
3 (9/30)	口腔清掃状態、歯のフッ素症と不正咬合の指標 ①口腔清掃状態の指標を説明できる。 ②歯のフッ素症指標を説明できる。 ③不正咬合の指標を説明できる。	[予習・復習]教科書 P116-123 [キーワード]OHI、OHI-S、Quingley・Hein の PI、PHP、PII、PCR、CFI、DAI	講義 ○戸田
4 (9/30) ※5 限目	歯周疾患に関する指標および表現法 ①歯肉炎と歯周炎の肉眼的特徴を説明できる。 ②歯周疾患に関する指標を説明できる。	[予習・復習]教科書 P107-116 [キーワード]PMA 指数、PI、PDI、GB count、GI、CPI	講義 ○中向井
5 (10/7)	歯科疾患の疫学的特性 ①歯科疾患の疫学的特徴を説明できる。	[予習・復習]教科書 P124-132 [キーワード]う蝕の疫学特性、歯周疾患の疫学特性、口腔癌の疫学特性	講義 ○宋
6 (10/7) ※5 限目	歯科疾患指標のまとめ ①歯科疾患の指標を分類・整理できる。 ②歯科疾患の指標を求めることができる。	[予習・復習]教科書 P105-123、配布資料 [キーワード] DMF、PMA 指数、PDI、GI、CPI、OHI、OHI-S、PHP、PII、PCR、CFII	演習 ○戸田
7 (10/21)	調査と統計 (1) ①標本調査の必要性和無作為抽出方法を説明できる。 ②第 11 回歯科疾患実態調査の概要を説明できる。 ③主要な歯科保健に関する国家統計調査を説明できる。	[予習・復習]教科書 P133-135、148-149 [キーワード]発生率、有病率、全数調査、標本調査、無作為抽出法、国民の歯科疾患・保健の状況、主な国家統計調査	講義 ○宋
8 (10/21) ※5 限目	調査と統計 (2) ①スクリーニング検査の意義と有効性の判定指標を説明できる。 ②データ尺度と基本統計量を説明できる。 ③度数分布表とヒストグラムを説明できる。 ④正規分布の特徴を説明できる。	[予習・復習]教科書 P135-144 [キーワード]スクリーニング検査、データの尺度、標本推測統計、度数分布表、ヒストグラム、基本統計量、正規分布	講義 ○戸田

9 (10/28)	調査と統計 (3) ①平均値の推定を説明できる。 ②統計的検定法の使い分けを説明できる。 ③質問紙調査の概要を説明できる。	[予習・復習]教科書 P144-147 [キーワード]相関、単純集計とクロス集計、平均値の区間推定、t検定、 χ^2 検定、分散分析、質問紙調査	講義 ○戸田
10 (11/11)	地域歯科保健 ①地域歯科保健活動の進め方を説明できる。 ②健康日本 21 の意義と目標を説明できる。 ③歯科口腔保健に関する法律の意義と目標を説明できる。	[予習・復習]教科書 P151-168 [キーワード]地域歯科保健、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、地域歯科保健活動の進め方、健康日本 21、健康増進法、歯科口腔保健に関する法律	講義 ○戸田
11 (11/18)	母子歯科保健 ①妊産婦と乳幼児の口腔の特徴を説明できる。 ②幼児の法定歯科健康診査を説明できる。	[予習・復習]教科書 P169-178 [キーワード]妊産婦の歯科保健、乳幼児の歯科保健、1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査	講義 ○戸田
12 (11/25)	学校歯科保健 ①学校保健の領域を分類できる。 ②学校三師の役割を説明できる。 ③学校歯科健康診断と事後措置を説明できる。	[予習・復習]教科書 P179-188 [キーワード]学校保健の領域、学校三師、学校歯科保健、学校歯科健康診断、学校歯科保健教育、学校歯科保健管理、事後措置	講義 ○戸田
13 (12/2)	産業歯科保健 ①産業保健の仕組みを説明できる。 ②職業性歯科疾患の特徴と予防を説明できる。 ③歯科医師による特殊健康診断を説明できる。	[予習・復習]教科書 P189-199 [キーワード]職業性歯科疾患、産業保健活動、職域における口腔保健管理、歯科医師による特殊健康診断	講義 ○戸田
14 (12/9)	成人・高齢者・要介護者・障害者の歯科保健 (1) ①各種法律に基づく成人・高齢者の歯科保健事業を説明できる。 ②在宅訪問歯科保健指導を説明できる。	[予習・復習]教科書 P200-204 [キーワード]高齢者の医療の確保に関する法律、特定健康診査・特定保健指導、歯周疾患検診、健康増進法、基本チェックリスト、在宅訪問歯科保健指導	講義 ○中向井
15 (12/16)	成人・高齢者・要介護者・障害者の歯科保健 (2) ①要介護者・障害者の歯科保健を説明できる。 ②災害時の歯科保健を説明できる。 ③国際歯科保健を説明できる。	[予習・復習]教科書 P204-215 [キーワード]介護保険法に基づく歯科保健、要介護者・障害者の歯科保健、被災地での歯科保健活動、国際協力、SDGs	講義 ○戸田

※時間割の変更が生じた場合には KDU ポータルサイト等にて周知します。